

おうちのみなさまへ

# 薬物乱用から子どもたちを守るために

近年の青少年の薬物乱用の状況については、シンナーや覚せい剤事犯の検挙者数は減少傾向にあるものの、大麻については全検挙者数の約7割を未成年者及び20歳代が占めるなど、若年層への広がりが大きな社会問題となっている。ある「中学生・高校生の薬物に関する意識調査結果」では、子どもたちが薬物を身近なものとして捉え、薬物乱用に関する事件にいつ巻き込まれてもおかしくない状況にあることが明らかとなり、「薬物には絶対に手を出さない」という意識を身に付けさせることが緊要な課題となっている。



最近よく聞く「合法ハーブ」って何？

本当に大丈夫？・・・

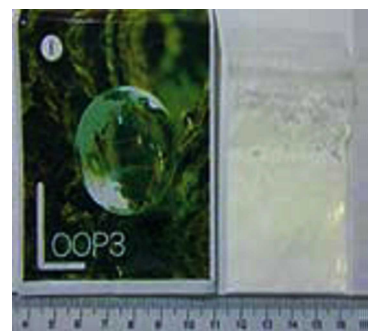
「合法ドラッグ」「合法ハーブ」などと称する薬物が売られている。「合法」と称しても、法律で認められたものではなく、覚醒剤や大麻に化学構造を似せて合成された物質などが添加された物質で、「ハーブ」「お香」「アロマオイル」「アロマリキッド」「バスソルト」など、危険な薬物ではないように偽装して売られている。添加されている物質の中には薬事法で指定薬物として製造や販売が禁止されていたり、麻薬として指定されているものもあるが、新しく合成されたもので、指定されていないものもあり、禁止されていないものもあるため、「合法」「安全」などとだまして売っていることもあり、「合法」でも「安全」でもない。これらは、中枢神経に作用し、呼吸停止意識消失、興奮、幻覚、意識混濁といった症状が現れるなど、人体への影響が甚大であり、場合によっては死亡するという大変恐ろしいものである。



【合法ハーブ】として



【アロマオイル】として



【バスソルト】として

# ○薬物乱用の影響

## 《健康への影響》

乱用される薬物は中枢神経に作用し、薬物の効果が切れた時の苦痛などから逃れるため、薬物による効果を強く求めるようになる「依存性」が形成され、薬物を繰り返し使用しているうちに同じ量では効かなくなる「耐性」が生じる。



薬物名	覚せい剤	大麻	有機溶剤 (シンナー など)	MDMA
俗称	エス、スピード、 アイス、シャブ	ハッパ、マリファナ	アンパン	エクスタシー、バツ
健康への 主な 影響	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 重篤な依存症</li> <li>・ 精神疾患：覚せい剤精神病（幻覚、妄想）</li> <li>・ フラッシュバック</li> <li>・ 血圧上昇、急性心不全</li> <li>・ 離脱時の強い疲労感や倦怠感、脱力感など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 精神疾患：大麻精神病（幻覚、妄想など）</li> <li>・ 人格変容</li> <li>・ 生殖機能への悪影響</li> <li>・ 呼吸器系の疾患など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 記憶力低下、認知障害</li> <li>・ 急性中毒</li> <li>・ 精神障害：有機溶剤精神病（幻覚、妄想）</li> <li>・ 重篤な依存症</li> <li>・ 歯がぼろぼろになる</li> <li>・ 視力の低下・失明など</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 錯乱、憂鬱、睡眠障害</li> <li>・ 心臓や肝臓の機能不全</li> <li>・ 腎臓と心臓血管の損傷</li> <li>・ 心臓発作</li> <li>・ 脳卒中、けいれん</li> <li>・ 記憶障害など</li> </ul>

※フラッシュバック：乱用をやめても、不眠やストレスがきっかけで、突然、幻覚や妄想などの症状が再燃すること。

## 《社会的影響》

幻覚・妄想が、殺人や放火などの犯罪や交通事故を引き起こすなど、乱用者本人だけでなく、家族や社会全体にも大きな影響を与える。

### \* 凶悪な事件につながる可能性がある

薬物乱用により、幻覚・妄想が現れ、殺人等の重大犯罪を起こす恐れがある。

### \* 法律で厳しく禁止されていて、重い罰を受ける

日本では、薬物の乱用を防止するために「覚せい剤取締法」、「麻薬及び向精神薬取締法」、「あへん法」、「大麻取締法」、「毒物及び劇物取締法」、「薬事法」などの法律で罰せられる。

### \* 友だちや家族を失うことがある

薬物乱用により人間関係が壊れ、友人や家族から孤立してしまう。

### \* 薬物欲しさに犯罪を犯すことがある

薬物入手のための金欲しさに、恐喝事件や窃盗事件をおこしたり、密売や乱用の勧誘など、犯罪をおこしたりすることもある。



## ○おうちで・・・

### ◆たばこやアルコールを許していませんか・・・

たばこやアルコールは薬物乱用の入門薬物としてゲイトウェイドラッグと言われている。家庭において子どもたちが喫煙・飲酒などの行為を行わないようにしましょう。

### ◆話し合いをしましょう

インターネットや携帯電話の普及などにより、覚せい剤、大麻、有機溶剤、MDMA、脱法ドラッグなど、命さえ危険にさらす薬物が子どもたちの身近に広がっている。甘い誘いの言葉についのせられ、危険な薬物とは知らずに手を出してしまうケースもある。喫煙、飲酒、薬物乱用などの誘いは、右のような巧みな言葉で子どもたちに迫ってくる。仲間からのプレッシャーに対し

### 誘いの言葉

- ・ ジュースみたいだぜ。(アルコール)
- ・ 気持ち良くなるよ。(アルコール)
- ・ 友だちだろ、一緒に吸おうぜ。(たばこ)
- ・ みんな吸ってるよ。(たばこ)
- ・ これでダイエットできるよ。(薬物)
- ・ 1度だけなら大丈夫。(薬物)

て、どんなときでも「絶対にNO」と言える「上手な断り方」をおうちでも話し合い考えておこう。また、日常から子どもが何でも話せる、温かい家庭の雰囲気づくりを！

## 「うちの子に限って・・・」は危険です